

## 平成22年12月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年5月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社paperboy&co.

コード番号 3633 URL <http://www.paperboy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長

(氏名) 久保田 文之

TEL 03-5456-3021

四半期報告書提出予定日 平成22年5月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第1四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	744	16.0	148	0.2	148	0.1	87	0.7
21年12月期第1四半期	641	—	148	—	148	—	86	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	66.01	65.85
21年12月期第1四半期	65.62	—

(注)当社は、20年12月期においては、四半期財務諸表を作成していないため、21年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	2,145	885	41.3	667.64
21年12月期	2,269	943	41.6	711.63

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 885百万円 21年12月期 943百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	110.00	110.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	130.00	130.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,540	14.4	299	△1.1	299	△1.3	177	△0.1	133.48
通期	3,245	19.2	676	15.8	676	15.7	400	17.8	301.66

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	1,326,000株	21年12月期	1,326,000株
---------------------	--------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	一株	21年12月期	一株
-----------	--------------	----	---------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年12月期第1四半期	1,326,000株	21年12月期第1四半期	1,325,000株
--------------------	--------------	------------	--------------	------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、予想の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果などを背景に、企業収益が改善し一部景気に持ち直しがみられたものの、なお自立性は弱く、海外景気の下振れ懸念、雇用情勢の悪化懸念など景気を下押しするリスクが存在し、依然として厳しい状況が続いております。

インターネット関連業界におきましては、「スマートフォン」と呼ばれる、通常の音声通話や携帯電話・PHS単独で使用可能な通信機能だけでなく、本格的なネットワーク機能を内蔵した電子端末によるインターネット接続や、スマートフォン上で動作するアプリケーションの利用が進むなど、インターネット環境及びインターネット関連サービスの利用環境も一段と多様化しております。また、電子書籍関連の話題も注目を集めており、電子書籍のビジネス展開もより一層進んでいくものと考えられ、従来のEコマースだけではなく、電子データを通じた商取引も活性化が進んでおります。

このような事業環境のもと、当社では各サービスにおいて、サービススペックの向上や機能の強化に注力するなど顧客満足度向上のための活動を行い、また、割引キャンペーン等を積極的に実施し、会員数のさらなる獲得を図りました。

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高744,417千円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益148,840千円（前年同四半期比0.2%増）、経常利益148,760千円（前年同四半期比0.1%増）、四半期純利益87,528千円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

(事業部門別の状況)

(1) ホスティング事業

ホスティング事業におきましては、レンタルサーバー各サービスでキャンペーン等を実施し、特に「ロリポップ！」にて標準ディスク容量をこれまでの8倍となる8GBへ大幅増量するなど、顧客の利便性と新規顧客獲得のための活動を継続的に行い、当第1四半期では、レンタルサーバーサービスの契約件数は、約5,000件増加し約302,000件、ドメインサービスの登録ドメイン数は、約36,000件増加し約582,000件となりました。

この結果、当第1四半期会計期間におけるホスティング事業の売上高は557,568千円（前年同四半期比7.6%増）となりました。

(2) EC支援事業

EC支援事業におきましては、「Color Me Shop! pro」にて契約自動更新機能、商品カタログ作成機能などの顧客からの要望が高かった機能拡充や決済手段の追加等を行い、顧客満足度向上のための活動を重点的に実施しました。「カラメル」においては、世界一周の旅で雑貨を買い付ける「世界一周雑貨バイヤー」企画のバイヤーの決定、「カラメルショップ大賞2009」の発表などコンテンツの拡充を行うことで集客に一層注力し、当第1四半期では、「Color Me Shop! pro」の契約件数は、約1,000件増加し約27,000件、「カラメル」の店舗数は、約900件増加し約11,100件となりました。

この結果、当第1四半期会計期間におけるEC支援事業の売上高は124,917千円（前年同四半期比43.1%増）となりました。

(3) コミュニティ事業

コミュニティ事業におきましては、ブログサービス「JUGEM」にて各種機能の拡充を行い、有料版の「JUGEM PLUS」では「おさいぼ！」決済に対応するなど顧客満足度向上のための活動を積極的に行い、当第1四半期では、「JugemKey ID」数は、約104,000件増加し約1,677,000件となりました。

「Grouptube」においても利便性向上のための機能追加を継続して行っております。

この結果、当第1四半期会計期間におけるコミュニティ事業の売上高は61,931千円（前年同四半期比70.5%増）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ124,635千円減少し、2,145,346千円となりました。主な増減要因は、売上及び利益の増加による「売掛金」の増加32,551千円、剰余金の配当及び前期に係る法人税等の納税などによる「現金及び預金」の減少170,632千円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ66,303千円減少し、1,260,054千円となりました。主な増減要因は、会員数の増加等に伴う「前受金」の増加37,511千円、前期に係る法人税等の納税による「未払法人税等」の減少129,500千円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ58,331千円減少し、885,292千円となりました。これは、剰余金の配当により145,860千円減少したものの当四半期純利益87,528千円を計上したことによるものであります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、1,528,610千円と前事業年度末と比べ170,632千円の減少となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた現金及び現金同等物は、1,602千円（前年同四半期比75,768千円支出増加）となりました。これは主に、有料会員数等の増加等に伴う売上債権の増加による32,551千円の減少、前事業年度に係る法人税等の支払による166,854千円の減少、有料会員数増加に伴う前受金の増加による37,511千円の増加や減価償却費15,742千円及び税引前四半期純利益148,528千円の計上によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した現金及び現金同等物は、34,791千円（前年同四半期比20,181千円支出増加）となりました。これは主に、サービス用サーバー投資など有形固定資産の取得に関する支出が22,592千円、自社利用サービスのソフトウェア開発投資など無形固定資産の取得に関する支出が3,854千円あったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した現金及び現金同等物は、137,444千円（前年同四半期比41,727千円支出増加）となりました。これは、配当金の支払いによる支出が137,444千円あったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移しておりますので、平成22年2月10日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,528,610	1,699,243
売掛金	356,831	324,280
前払費用	26,393	23,364
その他	12,722	31,283
流動資産合計	1,924,557	2,078,171
固定資産		
有形固定資産	93,191	69,876
無形固定資産	79,978	81,700
投資その他の資産	47,619	40,234
固定資産合計	220,789	191,810
資産合計	2,145,346	2,269,981
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	45,000	174,500
賞与引当金	1,250	—
役員賞与引当金	1,600	—
前受金	777,747	740,235
その他	434,457	411,622
流動負債合計	1,260,054	1,326,358
負債合計	1,260,054	1,326,358
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	119,387	119,387
資本剰余金	109,387	109,387
利益剰余金	656,518	714,849
株主資本合計	885,292	943,623
純資産合計	885,292	943,623
負債純資産合計	2,145,346	2,269,981

## (2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	641,939	744,417
売上原価	274,661	349,947
売上総利益	367,277	394,469
販売費及び一般管理費	218,691	245,629
営業利益	148,586	148,840
営業外収益		
受取利息	0	2
その他	171	57
営業外収益合計	171	60
営業外費用		
消費税等調整額	88	139
営業外費用合計	88	139
経常利益	148,669	148,760
特別損失		
固定資産除却損	—	231
特別損失合計	—	231
税引前四半期純利益	148,669	148,528
法人税、住民税及び事業税	56,685	42,001
法人税等調整額	5,034	18,998
法人税等合計	61,720	61,000
四半期純利益	86,949	87,528

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	148,669	148,528
減価償却費	10,196	15,742
固定資産除却損	—	231
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	1,250
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	4,500	1,600
受取利息	0	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△56,940	△32,551
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,803	△2,744
前受金の増減額(△は減少)	40,690	37,511
その他の流動負債の増減額(△は減少)	24,257	△1,348
その他	76	237
小計	173,252	168,454
利息の受取額	0	2
法人税等の支払額	△95,881	△166,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,371	1,602
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,606	△22,592
無形固定資産の取得による支出	△7,187	△3,854
敷金の回収による収入	184	—
敷金の差入による支出	—	△8,245
その他	—	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,609	△34,791
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△95,716	△137,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,716	△137,444
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,954	△170,632
現金及び現金同等物の期首残高	1,283,715	1,699,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,250,760	1,528,610



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

当第1四半期会計期間における事業部門別の販売高は以下のとおりです。

事業部門	前第1四半期会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)		当第1四半期会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)		前年同四半期 比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
ホスティング事業	518,310	80.7	557,568	74.9	107.6
EC支援事業	87,302	13.6	124,917	16.8	143.1
コミュニティ事業	36,326	5.7	61,931	8.3	170.5
合計	641,939	100.0	744,417	100.0	116.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。